

令和3年2月1日

第75号

令和2年11月定例会の  
内容をお知らせします。

# かけがわ 市議会 だより

## おもな内容

- P2 シリーズ「議会のとびら」第6回
- P3 常任委員会 調査研究報告
- P6 WEBde かけがわ議会報告会
- P8 一般会計補正予算の概要
- P9 一般質問
- P14 常任委員会 委員長報告（補正予算など）
- P15 審議結果一覧
- P16 未来日誌／議員研修／傍聴席／  
表紙の説明／編集後記

# シリーズ 議会のとびら 6

4月18日は、4年に一度の市議会議員選挙です。皆様の代表を選ぶ重要な選挙。市議会の役割や市議会と市長の関係性などを改めてお伝えします。

あなたの声を市政に届けよう♪



## 市議会の役割は？

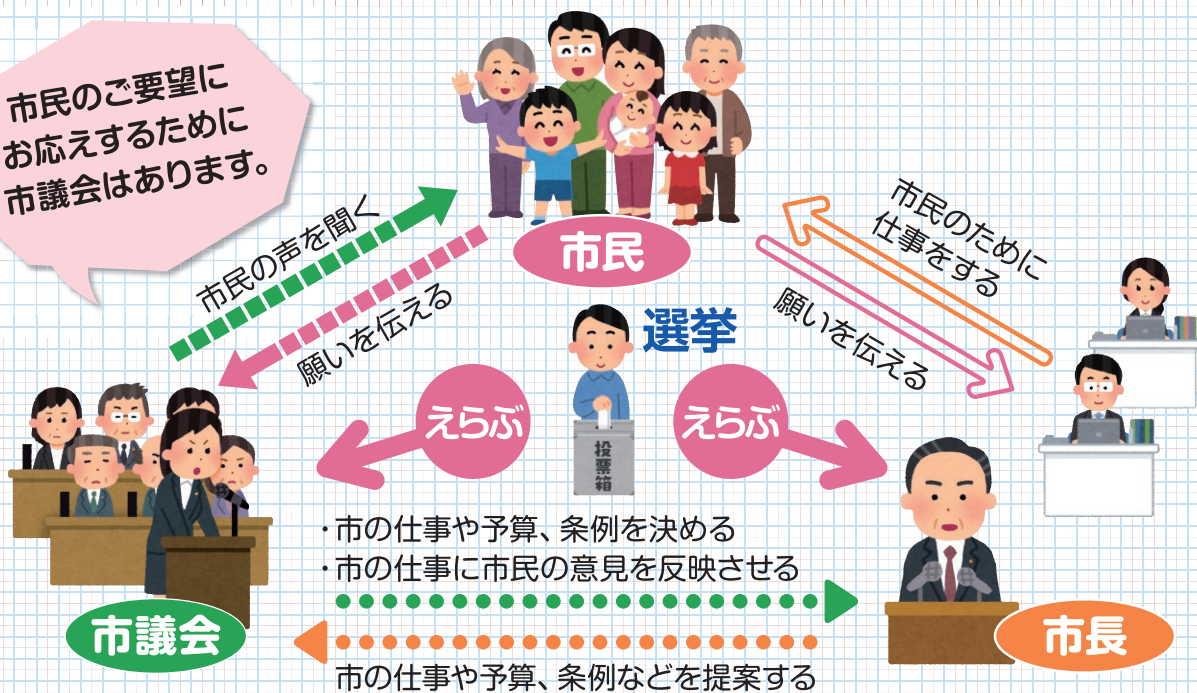
市民を代表して意見や考えをまとめ、住みやすいまちにしていくこと。

- 1 条例（市独自の決まり）を決めたり、廃止したりする。
- 2 予算（市民から集めたお金＝税金をどのように使うか）を決める。
- 3 予算が正しく使われているか、市の仕事が正しく行われているかを調べ意見する。

## 市議会議員とは？

4年ごとに行われる選挙で選ばれる市民の代表。議員になれるのは25歳以上の掛川市民で、議員を選ぶことができるのは18歳以上の掛川市民です。掛川市の議員定数は条例で決められていて、21人です。

市民のご要望にお応えするために市議会があります。



# 常任委員会 調査研究報告 年間テーマを定め活発な議論

各委員会にて1年間の研究テーマを定め、これまで積極的に調査研究を重ねてきました。また、「WEB de かけがわ議会報告会」では動画配信により、調査内容を市民のみなさんにお示しし、アンケートでご意見をいただきました。今回、その内容に基づき、市当局と議論する場として委員会協議会を開催いたしました。ここでは、議論された内容の要旨を掲載します。

## 総務委員会

委員長 小沼秀朗

当委員会では年間研究テーマを「市民を守る!新型コロナウイルス感染症対策」と題し、以下の5本を柱としてこれまで定期的に協議を重ねてきました。政策議会ではWEB de かけがわ議会報告会の市民アンケートのご意見を参考に協議会を開催しました。

### 5本の柱と協議会の主な意見

#### 感染症拡大防止策を含めた避難所運営

- パーテーション、折りたたみ式ベッドの保管場所が旧睦浜幼稚園1箇所であるが、災害時には道路の寸断などが懸念されるため、有事に備え、早急に市内に分散して保管する必要がある
- 新型コロナウイルスに限らず、新型インフルエンザなど他の感染症にも対応できる複合災害対応マニュアルを早急に作成する必要がある
- 遺体収容所となる「さんりーな」での運営方法に感染防止策への改善が必要ではないか

#### 外国人対応

- 自治会加入率を上げ、コミュニケーションがとれる環境を整える必要がある
- ラインアプリほか情報伝達においてわかりやすい表記方法への改善が必要である

#### 第2次総合計画の改定

- 既存の施策にSDG sを追加することで市民に、より混乱を生じさせる恐れがある

#### 令和3年度の財政見通し

- 市税収入も財政調整基金も減少が見込まれるなかで、第3次地方創生臨時交付金を活用した市内活性化策を講じられないか

#### 新しい生活様式と新たなまちづくり

- 年数が経過している住宅団地等においてIoTを活用したスマートシティプロジェクトの検討ができないか
- 市の施設についても市営住宅の再編等、既存のストックを有効活用していく視点も大事である



新型コロナ緊急支援相談コーナーを視察



「とよたエコフルタウン」リモートガイドツアー

### まとめ

今回の議論の中で市民への情報の伝達不足を強く感じました。今後は情報発信策の改善をよく検討するべきです。先行き不透明なコロナ禍において、市議会、当局が力を合わせ、柔軟な発想と危機対応施策にて難局を乗り越えていくよう、今後、政策提言に向けて、より議論を深めていきます。

# 環境産業委員会

委員長 山本裕三

当委員会では年間テーマを「ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策」とし、「市内の古民家を活用した農泊事業」、「空き家空き地の活用」、「コワーキングスペース」、「サテライトオフィス」、「リモートワーク」、「アートによる町おこし」などの現状課題を調査研究し、協議会を開催しました。

## 調査研究について

市内の移住定住に関わる事業者等の方々からヒアリング・意見交換を行い、その後協議した内容とWEB de かけがわ議会報告会の市民アンケートのご意見も踏まえて、市当局と意見交換を行いました。



「かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会」の取り組みについて。人材不足と地域との連携強化の必要性



原泉のアートイベントを通し、地域との関係づくり、交流人口から関係人口への構築



商店街の空き店舗をリノベーションしたコワーキングスペース（レンタルオフィス）を活用し、地域の活性化を推進



市内にサテライトオフィスを設立した事業者の実情に基づいた制度設計について



フリーランスとしての新しい生き方、学びの場としての情報発信



社員 700 名全てリモートワークの企業より、「新しい働き方について」オンライン講演

## まとめ

環境産業委員会として、①地域おこし協力隊等、外部人材の活用 ②空き家を利活用した移住者体験モデルハウスの設置 ③文化芸術での関係人口増加策の推進 ④サテライトオフィス誘致の補助制度の創設 ⑤庁内組織横断で取り組むこと、等が必要と考えています。今後、市議会として市当局への政策提言に向けて取り組んでいきます。

# 文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

当委員会の本年度のテーマは、「人生100年時代構想を踏まえた地域包括ケアシステムの現状と課題について～ふくしあは、まちの保健室～」です。委員会で協議を重ね、市内5か所のふくしあの視察、WEB de かけがわ議会報告会での市民のみなさまの意見を踏まえ、協議会を開催しました。

## 協議会の主な意見

### ◎当局からの意見

当局より、「令和元年度のふくしあの活動への市民の認知度は、よく知っている、少し知っているを合わせて35.3%であり、ふくしあの認知度が低いことは承知している。ふくしあの認知度を上げていかななくてはいけないことを再認識した。今後、しっかり周知していく。」という説明がありました。

### ◎ふくしあのさらなる機能強化・認知度向上に向けて

- ①市民のみなさまに、ふくしあが「まちの保健室」のような位置づけとして置かれていることの周知徹底（赤ちゃんの相談から、お年寄りまで誰もが気軽に立ち寄ることができ、なんでも相談できる施設）
- ②ふくしあ行政職の適正な人事配置や人材育成が必要
- ③社会福祉士などの専門職の採用が必要



大須賀ふくしあで意見交換



大東ふくしあを視察



中部ふくしあで意見交換



東部ふくしあを視察

### ◎その他として

- ①人生100年時代を迎え、自助・共助の観点から、各個人が地域の中での結びつきを強め、それぞれの地域住民のみなさまが自分事として捉える機運の醸成を図る施策
- ②市民のみなさまにエンディングノートの有効活用をしていただくように周知する

## まとめ

今後、人生100年時代構想を踏まえ「ふくしあ」を中心とした掛川型地域包括ケアシステムを更に充実させ、市民のみなさまが今以上に安全・安心に暮らしていけるよう、委員会で協議を深め、提言となるように取り組んでいきます。

～市民により開かれた議会を目指して～

令和2年度

## 「WEB de かけがわ 議会報告会」を実施

多くのおみなさんのご視聴・ご協力ありがとうございました。

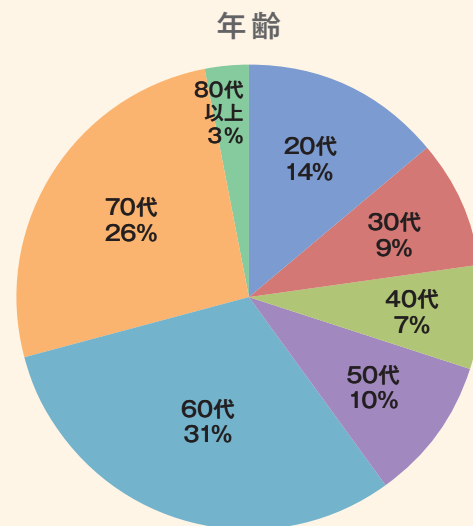
市民のおみなさんに、掛川市議会がどんな活動をしているのか、また、市の重要課題にどう対応しているのかを知っていただくとともに、ご意見を伺い議会活動に活かすため議会報告会を行いました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見込まれないため、会場開催を見送り、動画配信による「WEB de かけがわ 議会報告会」という形で実施いたしました。

### □ アンケートの年代別割合

11月末現在の延べ視聴者数は663人、58件のアンケートをいただきました。アンケートに回答して下さった方は、例年に比べ20代から50代の方や女性の割合が増えました。

今後は、いただいたおみなさんの声を活かしながら、年度末を目途に政策提言につなげてまいります。



## アンケート結果より

### 全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- 市議会議員のおみなさんが、それぞれの委員会に分かれて、市民のために様々な調査、努力をされていることを知ることができましたが、もっと広く知ってもらう必要があるのではないのでしょうか？今回、WEB で自宅視聴できたことは良かったと思います。
- 今回のWEB による議会報告会の動画配信は、聞き逃した部分も再度確認できるので、非常に良いと思いました。意見等も書き込めるようにしたら、より良いと思います。
- 画面と話し言葉が合っていないので、分かりにくい。どこを見てよいか分からない。結局、声と字幕を追っていくしかない。やはり、実際の報告会の方がよい。
- 全体的に提言内容が小さいので、掛川市をそれぞれの立場として、どういう市にするためにこういう事から始めたいというビジョンが少し欲しい気がします。

## 各委員会の中間報告に対するご意見など

### 総務委員会

#### テーマ 市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策

- コロナ禍対策の取り組みとそれに伴う議会費の削減等、コロナ対策を評価するとともに今後の取り組みに期待しています。
- コロナ対策で、市民が犯人探しみたいな事をしている。誹謗中傷を防ぐ対策を。
- 行政の取り組みは理解できますが、総務委員会としての取り組みはよくわかりません。
- 新しい掛川のまちづくりの為に、提言7の豊かな人づくりは大切です。中・長期の取り組みとなりますが、研究し、具体的な提言につなげてほしい。



### 環境産業委員会

#### テーマ ポストコロナの新しい生き方に合わせた移住定住策

- 定住人口に対する様々な取り組み状況がよく分かり、今後の取り組み状況も良く理解できました。
- 市内に多数の移住者、移住事例がある事が参考になりました。
- 交流人口から関係人口へ・・・という内容が分かりにくかったです。
- 上手な発想を感じました。特に「まとめ」など明解！田舎の生活は体力が必要。



### 文教厚生委員会

#### テーマ 人生100年時代構想を踏まえた地域包括ケアシステムの現状と課題について

- ふくしあ強化は、大切だと思います。提言にある予防的な視点の重視は、今やるべき重要なテーマだと思います。具体的に取り組んでいる内容は地域にPR展開し、効果につなげていくべきだと思います。
- 緩和ケアの必要性。ケアラーの支援。
- 「ふくしあ」って何？良く理解できていません。
- 課題にもありましたが、訪問看護は大事だと思います。開業医との協議を進めて、より良い福祉を望みます。



「WEB de かけがわ議会報告会」は、引き続き3月まで視聴できますので、ぜひご覧ください。

◎アンケート募集は、12月末で締め切りました。ご協力ありがとうございました。

今年度はじめて行ったWEB開催を通して、市議会では、来年度以降は会場開催の様子を録画配信(予定)するなど、より多くの方々に参加・視聴していただけるよう工夫をしていきます。



視聴はこちら↑

## 11月定例会 令和2年度一般会計補正予算(第9号)の概要

**補 正 額**

**1億8,939万3千円**

**補正後の予算額**

**648億2,024万円**

### 新型コロナウイルス感染症関連の補正予算

**防災資機材整備費 増  
2,000万円**

災害時の広域避難所等における新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫感染予防のためのパーティション等の整備に要する費用



**指定管理施設営業損失  
補償金 追加・増  
3,668万円**

ならここの里、掛川城、二の丸茶室、竹の丸、生涯学習センター、文化会館シオーネ、美感ホール、大東温泉シートピア、南体育館、総合体育館さんりーな等の指定管理施設の臨時休業に伴う休業補償



**急患診療所運営事業費  
増 2,070万円**

新型コロナウイルス感染症のPCR検体採取センターについて、感染状況により開設期間を年度末まで延長するための費用など



### その他の補正予算

**人件費 減  
△6,759万円**

人事異動の確定に伴う補正及び人事院勧告に伴う期末手当の引き下げ。期末手当を民間との格差から100分の5の引き下げを12月期の手当支給分に反映させ、年間支給率を4.5月から4.45月へ引き下げた。

**三井幹線改良事業費  
増 4,650万円**

国庫補助金の内示増に伴う、事業進捗を図るための道路改良工事費



**障害福祉システム改修  
事業費 追加  
1,870万円**

令和3年4月から適用される障害者自立支援給付費の報酬単価改定に対応するためのシステム改修費







創世会  
二村 禮一

## 菊川流域治水協議会の取り組み内容は

**Q** 菊川は流域面積が狭く、川の勾配が緩く、支流を含めて水位が一気に上がりやすい特性を持っている。河川の特性に応じた治水対策を伺う。



一級河川菊川

## 「流域治水プロジェクト」を策定し、対策を行う

**A** 協議会では、堤防からの越水を回避し、浸水被害の軽減を図るため、流域治水について検討していきます。あわせて、国、県、市が行う対策について検討しており、今後「流域治水プロジェクト」を策定し、各対策の実施目標期間の設定、実施

状況のフォローアップを行っていきます。

## 掛川市の課題は

**Q** 今後、人口減少社会がさらに加速され、地方行政・自治体経営も大きな転換期を迎える中、ポストコロナ社会に適合したまちづくりをどのように進めていくか伺う。

## 人口減少と少子高齢化への対応が最も重要な課題である

**A** 掛川市にとって、人口減少と少子高齢化への対応が最も重要な課題と認識しています。そのほか、環境への取り組み、災害への備え、教育環境の向上や子育て支援、地域活性化や雇用創出などの経済対策についても、重要な課題であると考えています。さらに、新型コロナウイルスの影響を受ける中で、デジタル化の対応、地方分散の受け皿づくりなども新たな課題であり、総合計画を見直して、対応について検討を進めています。



志誠会  
草賀 章吉

## 松井市長がすすめた生涯学習とは、どのようなものか

**Q** 掛川市を説明する文言には、「生涯学習が根づくまち」「報徳精神が生きるまち」が必ず出る。松井市長がすすめた生涯学習とはどのようなものであったか伺う。

## 協働のまちづくりを支える根幹である

**A** 学び続けながら、自分たちの住む地域を豊かにすることが、自分の人生を豊かにすることが生涯学習であると思っております。その学びによって自己を高めた市民が、協働によるまちづくりを実践し、「ひとづくり」と「まちづくり」の一体的な推進が図られてきたと考えています。生涯学習とは、協働のまちづくりを支える根幹であると認識しています。

## 「区長会」と「地区まちづくり協議会」の議論再燃、課題は何か

**Q** 掛川市は過去から区長会を中心に協働でまちづくりをしてきた。「区長会」が果たしてきた役割を軽視して、「地区まちづくり協議会」をつくり混乱しているのではないかと。改めて課題は何かを伺う。

## 並立する組織の役割や関係性などの整理が課題

**A** 「区長会」と「地区まちづくり協議会」の二つの組織が並立することで、役割や関係性などの整理が難しくなっていること、旧地域生涯学習センターとの違いがわかりにくいことなどの課題があります。地区の現状や考えを聞きながら、実情に適合した組織となるよう、協働のまちづくりの原点に立ち返り、丁寧に議論を進めていきたいと考えています。

## 【その他の質問事項】

- ・重点施策の評価について
- ・小中一貫教育について
- ・在宅医療の現状と課題について
- ・茶園の耕作放棄地について



至誠の会  
鷲山喜久

### 「家代の里」土地の損害賠償について伺う

**Q** 市内の不動産業者は、静岡地方裁判所に、損害賠償請求訴訟を起こした。裁判の判決により、市が損害賠償責任を負うこととなった場合、市長は当時の担当職員に求償権を行使するか伺う。



静岡地方裁判所

### 法令に則り、適正な対応をする

**A** 判決あるいは審理内容を見極め、当該事務処理の過程において担当職員に故意または

重過失があったか否かを判断した上で、法令に則り、適正な対応をしていきます。

### 行政のデジタル化に伴い異常時の対応は

**Q** 市長の行政報告に、「印」からデジタル化について述べている。事務の効率化や職員の負担軽減が目的であるが、システムの異常や機器の故障が起きた時の対応は、どのようにされるか伺う。

### 監視システムから担当者にメールが届き、対応する

**A** デジタル化に関係なく、現在も重要なシステムには監視システムによる監視をしており、不具合が発生した場合は、休日、夜間に関係なく複数の担当者にメールが届き、対応するようになっています。また、大規模災害の発生によるシステムの異常や故障については、業者に対応してもらおうなどの初動体制を整えています。



創世会  
山本裕三

### 最新技術を活用した新たな高齢者見守りシステムの構築が必要では

**Q** 現在のボタン式緊急通報システムでは急に意識を失った場合に対応ができない。電気・水道・ガス・メーター連動型等、自身で起動しなくとも発動する見守りシステムの調査研究が必要ではないか。



緊急通報システム

### 他市の先駆的な事例を参考にし、調査研究をしていきたい

**A** 掛川市では、「緊急通報システム」を無償で貸与しており、現在236人の方が利用し

ています。今後は、高齢者本人や離れて暮らす家族の不安を軽減するために、他市の先駆的な事例を参考にし、調査研究していきたいと考えています。

### 選べる「見守り配食サービス」で高齢者に食べる喜びを

**Q** 利用者が減少する中、今後多様な事業者の参入を促し、配食メニューのバラエティーを広げ、利用者拡大推進をすべきではないか。

### 利用者が選びやすい制度にしていきたい

**A** 今後、市では公募のプロポーザル方式を導入して、利用者が選びやすい制度にしていきたいと考えています。





アクテイブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
松浦昌巳

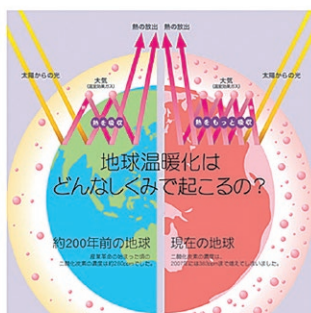
## 上西郷工業用地の早期着工を

**Q** 県のフロンティア推進区域に指定されている上西郷工業用地は、昨年度末には事業化に向けて推進されていたが、未だに事業者募集がされていない。早期の事業着工はできないか。

**A** これまでの工業用地造成事業の考え方に加え、SDGsへの取り組みや、デジタルトランスフォーメーション、先端技術を取り入れる等、掛川市の戦略目標達成に貢献できる土地利用となるよう、公募内容について十分な検討を行い、出来る限り早期に公募の開始ができるよう努めていきます。

## 横須賀高校と池新田高校の新構想高校へ「環境防災科」を

**Q** 国では、温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすると表明した。環境と防災を学ぶ環境防災科を設置し、地域住民も学ぶことができる掛川産木材校舎の新構想高校を提唱できないか。



地球温暖化のしくみ

**A** 「南遠協議会」とも相談し、県教委へ提唱していく。掛川市としては、横須賀高校の存続と教育環境の充実を目指す中で、環境防災科の設置や掛川産材の利用について、「南遠地域教育環境整備推進協議会」とも相談しながら、県教育委員会へ提唱をしていきます。



アクテイブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
藤澤恭子

## 大東温泉シートピアの公共施設再配置計画の進め方は適切か

**Q** 公共施設マネジメントは喫緊の課題であるが、地域住民との丁寧な議論が不可欠である。その初の事例としてシートピアの民間譲渡活動の進捗状況と今後の予定を伺う。



大東温泉シートピア

**A** 現在、複数の事業者が興味を示しており、今後、対話を続けながら、譲渡・公募条件を調整・検討していきます。できる限り早い段階で公募手続きに入り、譲渡先を決定し、新たな営業に向けた準備等を進め、営業休止期間が短くなるよう努めていきます。民間譲渡は、持続可能かつ魅力的な施

設への改革のための最善の手段だと考えていますので、関係者や地域のみなさま、民間事業者と十分協議しながら、スピード感を持って進めていきます。

## 子宮頸がんワクチン接種の考え方を伺う

**Q** 現在、積極的推奨は中止だが、子宮頸がんの発症は増加し続けている。ワクチン接種の判断として正しい知識や情報提供が必要だが、市としてどう取り組むか。

**A** ワクチン接種の情報提供に関する国の方針に基づき、本市も本年8月に接種対象者及びその保護者に対して、リーフレットを個別送付いたしました。今後の取扱いについても国の検討部会の方性を踏まえて対応していきます。また、がんの予防としては、子宮頸がん検診の、初年度対象者となる20歳の女性全員に、病气や予防についてのリーフレットを送付し、知識の普及に努めていきます。

## 国の検討部会の方性を踏まえて、知識の普及とがんの予防に努める



共に創る掛川  
富田まゆみ

ラグビーの三大聖地としての  
チャンスをどう活かすのか

**Q** 県がエコパにラグビー場を増設し計5面を持つエコパは、菅平・網走に次ぐラグビーの三大聖地となりえる。このチャンスをどう活かしていくか伺う。



関係機関と連携を図りながら、ラグビーの聖地化を推進する

**A** 掛川市も、スポーツへの関心をさらに高める絶好の機会と捉え、静岡県や静岡県ラグビー協会などの関係機関、さらには近隣市とも連携を図りながら、ラグビーの聖地化に向けた取り組みをワンチームとなって推進していきたいと考えています。

地域の災害対応力向上の具体的な施策を

**Q** 現場で活用できるマニュアルやアクションカードの見直しのため、現場に職員が出向いて地域の実情に合った形にするのと、ピクトグラム（絵文字や絵単語）の導入が有効と考えるがいかがか。

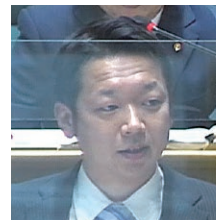


運営マニュアルの見直しを進めていく

**A** 掛川市では、広域避難所ごとに、地域の実情に合わせた運営マニュアルを作成しており、毎年、自主防災会、施設管理者、支部員、危機管理課が一堂に会し、見直しを行っています。併せて、アクションカードの見直しやピクトグラムの活用も進めていきます。

【その他の質問事項】

・庁内組織体制について



創世会  
嶺岡慎悟

学校再編計画策定のスケジュールは

**Q** 学校再編計画は、掛川市のみちづくりを決める大変重要な計画である。新型コロナウイルスの影響で計画が遅れているが、今後の計画策定スケジュールを伺う。

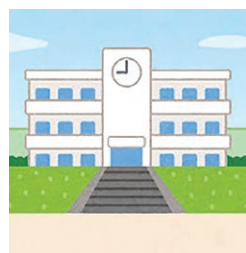


来年度、学校再編計画の素案を公表し、議論していく

**A** 総合計画の改定や学級数等の基礎調査の結果を踏まえ、今年度中に素案をまとめ、来年度に素案を公表し、市民の皆様と議論していきたいと考えています。

城東学園と原野谷学園の小中一貫校基本計画策定の進捗は

**Q** 城東学園と原野谷学園の小中一貫校基本計画策定について、今年度、予算が組まれているが、いまだ予算執行がされていない。学校再編計画策定と切り離して取り組んでいくべきではないか。



市全体での適正配置を検討した上で、学校再編を検討する

**A** 両学園で検討していただいた内容と、今年度実施している基礎調査の結果を基に、掛川市全体での適正配置を検討した上で、個別の学校再編を検討していきたいと考えています。

【その他の質問事項】

・ICTを活用した情報発信について



アクティブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
**窪野 愛子**

## 次期男女共同参画行動計画にジェンダーの視点を

**Q** 第4次掛川市男女共同参画行動計画策定には、コロナの社会経済的影響に対応するために、ジェンダーの視点を取り入れた計画とすべきと思うが、課題や対策について伺う。

## ジェンダーによる男女差別をなくした計画を策定していく

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、生活様式の変化による女性への負担や暴力の増加などの課題が取り沙汰されています。このような課題を解決するため、第4次男女共同参画行動計画では、女性も男性も家庭と仕事を両立しながら働き続けることができる社会の実現や、多様な性のあり方の理解促進を目指した計画策定に取り組んでいきたいと考えています。

## 協働のまちづくり市民意識調査の結果の分析は

**Q** 市が協働のまちづくりを進めていることを知らない市民は昨年より6ポイント増の63.1%である。今年の市民意識調査の結果を市長はどのように捉え、原因についてどのように考えているのか伺う。



掛川市自治基本条例

## 地区集會を休止したことが主な原因と思われる

**A** 地区まちづくり協議会の位置づけや地区区長会などの組織の違い、役割がわかりにくいこと、開催方法のあり方を検討するため、地区集會を休止したことに原因があると思っています。今年度はコロナ対策の中でインターネットを通じた動画配信など新たな情報発信の手法を確立したので、これまで地区集會に参加する機会がなかった方等へ周知を図り、まちづくりの認知度向上に努めていきます。



日本共産党  
**勝川志保子**

## セーフティーネットとして機能できる住宅政策を

**Q** 住宅確保要配慮者への適切な住まい支援を行うため、賃貸住宅供給促進計画などの策定を行い、困窮者支援となりうる公営住宅政策を市として責任を持って行うべきではないか。



セーフティーネットとしての役割が期待される公営住宅

## 関係課で連携し、具体的施策について研究していく

**A** 静岡県では、住宅セーフティーネット法に基づき、平成30年3月に賃貸住宅供給促進計画が策定されており、住宅確保要配慮者に対し、賃貸住宅の供給促進を図る旨が記載されています。基本的には県計画に網羅されているため、現段階では掛川市として独自

の計画を策定する予定はありません。しかし、要配慮者への適切な住まい支援は、必要となりますので、都市政策課と福祉課や長寿推進課等で連携し、情報共有を図りながら、具体的施策について研究していきます。

## 高齢者の補聴器購入に助成制度を

**Q** 補聴器の適切な使用は、高齢者の社会参加を促し、認知症予防としても大きな意味を持つ。中軽度難聴のうちから補聴器の購入を促すために、助成制度を創設する考えはないか。

## 国や近隣市町の動向を注視しながら、研究していく

**A** 県内では、磐田市と長泉町で助成を行っています。助成制度の導入については、国や近隣市町の動向などを注視しながら、研究していきたいと考えています。

## 【その他の質問事項】

- ・市民が利用する公共施設のネット環境整備について
- ・子育てしやすいまちをめざす新たな支援策について



令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

**総務委員会** 委員長 小沼秀朗

**避難所における資機材整備について**

- Q** 各広域避難所への今後の資機材配備数の計画が、地区の役員等に情報共有されていないのではないか。今後の情報共有の方法を伺う。
- A** 自主防災会長会議以外にも、今後様々な機会に周知していきたいと思えます。また、避難所における資機材整備の補助制度も、周知していく必要があると考えています。

- Q** 飛沫感染防止用のパーティションや、折りたたみ式ベッドは現在 2,000 台を整備済みである。今後 5,000 台まで用意する計画であるが、その数で足りるのか伺う。
- A** 42 の広域避難所と救護所等へ 1 箇所 100 台設置できます。ひとつのパーティションの中にベッドを 2 台置くこともできるので、予定している 5,000 台で足りると思われれます。

**環境産業委員会** 委員長 山本裕三

**上西郷工業用地に関連する道路整備の進捗について**

- Q** 道路の測量設計委託料等の減額により、公募に影響がでないか伺う。
- A** 開発区域内の道路整備のため、開発事業者の計画に合わせて道路の実施設計をする予定であったが、公募を延期したことに伴い、減額補正するものであり、影響は出ないと考えます。

**地区の緊急要望について**

- Q** 地域協働環境整備費について、今後の緊急要望に対して支障をきたすことはないか伺う。
- A** 地区要望や材料支給分の減額分を、緊急要望事業に充てて対応をしていきます。

**文化施設の臨時休業に伴う休業補償について**

- Q** 臨時休業を行った、掛川城周辺施設の現在の状況を伺う。
- A** 県内外からの修学旅行生の受け入れにより、10月時点で、利用者数は約 80%ほど、収入は約 70%ほど回復しています。

**文教厚生委員会** 委員長 窪野愛子

**手話通訳者派遣事業について**

- Q** 手話通訳者が確保できなかったことで、実際現場で困ったことはなかったか伺う。
- A** 窓口業務を含め、業務に支障はありませんが、要望もありますので、手話通訳者を雇用して、体制をより充実させたいと考えています。

**PCR 検体採取センターについて**

- Q** 急患診療所使用料に関連して、PCR 検体採取センターの使用期間と利用実績を伺う。
- A** 期間は令和 2 年 6 月 4 日から令和 3 年 3 月末まで、12 月 3 日までの実績は 214 件です。
- Q** 年末年始の P C R 検査はどのような対応となるのか伺う。
- A** PCR 検査の委託先が年末年始は休業となりますので、検査が必要な方は、県の相談センターから、年末年始に実施している医療機関に繋ぐよう周知していきます。

# 11月定例会における審議結果一覧

## ■全会一致で可決・承認

予 算	○令和2年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について 人事異動と本年度の人事院勧告に伴う職員人件費の減額など
	○令和2年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について
	○令和2年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
	○令和2年度掛川市水道事業会計補正予算(第3号)について
	○令和2年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について
	○令和2年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について
	○令和2年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算(第2号)について

そ の 他	○字の区域の変更について(板沢地区) 地籍調査事業に伴い、字区域の合理的な整合を図るため、字の区域を変更
	○掛川市道路線の認定について 民間開発による宅地造成及び区画整理事業に伴う新規路線の6路線を認定
	○掛川市道路線の変更について 海岸防災林強化事業に伴う終点を1路線変更
	○公の施設の指定管理者の指定について(掛川市ききょう荘) 指定管理者を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、「社会福祉法人掛川社会福祉事業会」に指定
	○公の施設の指定管理者の指定について(森林果樹公園) 指定管理者を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、「遠鉄アシスト株式会社」に指定
	○専決処分の承認を求めることについて(反訴の提起) 家代の里地内緑地売却に関する損害賠償事件に対して、土地売却契約が無効であるとの考えのもと、土地所有権移転登記抹消手続を求めるもの

条 例	○掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 本年度の人事院勧告を踏まえ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き下げ
	○掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について 本年度の人事院勧告を踏まえ、常勤特別職の期末手当の支給割合を引き下げ
	○掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について 本年度の人事院勧告を踏まえ、教育長の期末手当の支給割合を引き下げ
	○掛川市税外収入金の延滞金に関する条例の一部改正について 「租税特別措置法」の改正に伴い、延滞金の割合の特例に関し、所要を改正
○掛川市公共下水道事業負担金条例等の一部改正について 「租税特別措置法」の改正に伴い、延滞金の割合の特例に関し、所要を改正	
○掛川市火災予防条例の一部改正について 「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令」の公布に伴い、所要を改正	

議 発	○掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 議員報酬の支給基準に「日割り計算」を定めるとともに、長期間欠席した時の「議員報酬」及び「期末手当」を減額する規定を定める改正
	○「防災・減災、国土強靱化のための対策のさらなる推進に関する意見書」の提出について 国に意見書を提出し、防災、減災、国土強靱化のための対策をさらに推進するよう強く要望
	○「別居・離婚後の面会交流についての法整備等を求める意見書」の提出について 国に意見書を提出し、子供の人権や利益を最優先し、別居・離婚後の子供の適切な養育環境を確保するため、別居・離婚後の面会交流についての法整備を行うなど、適切な措置を講じるよう強く要望

## ■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ○賛成 ×反対

議案名	議員名	創世会										AMK*		共掛*	至*	志*	共*			
		大石勇*	寺田幸弘	藤原正光	榛村航一	嶺岡慎悟	山本裕三	松本均	小沼秀朗	二村禮一	鈴木正治	藤澤恭子	松浦昌巳	窪野愛子	山本行男	鈴木久裕	富田まゆみ	鷺山喜久	草賀章吉	勝川志保子
○令和2年度掛川市一般会計補正予算(第9号)について 8ページをご覧ください		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について 本年度の人事院勧告を踏まえ、一般職員の期末手当の支給割合を引き下げ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○公の施設の指定管理者の指定について(掛川市老人福祉センター) 指定管理者を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、「中部ビル保養株式会社」に指定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○公の施設の指定管理者の指定について(掛川市児童館) 指定管理者を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、「中部ビル保養株式会社」に指定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

\*議長(大石 勇)は、採決には参加しません

\*AMK▶アクティブマネジメント・公明クラブ 共掛▶共に創る掛川 至▶至誠の会 志▶志誠会 共▶日本共産党

## ■総務委員会が全会一致で趣旨採択

建築士事務所の健全な発展により建築文化の向上を図るための要望書

# 未来日誌

※ 1月7日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

## 2月

- 5日(金) 9:00 ○全員協議会
- 17日(水) 9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)
- 18日(木) 9:30 ○本会議(議案の提案説明)
- 24日(水) 9:30 ○本会議(令和2年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○常任委員会(議案審査)

## 3月

- 4日(木) 9:30 ○本会議(令和2年度関係議案委員長報告～採決)
- 5日(金) 9:00 ○本会議(会派代表質問)
- 8日(月) 9:00 ○本会議(一般質問)
- 9日(火) 9:00 ○本会議(一般質問)
- 10日(水) 9:00 ○本会議(一般質問、令和3年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○常任委員会(議案審査)
- 11日(木) 9:30 ○常任委員会(議案審査)
- 19日(金) 9:30 ○本会議(令和3年度関係議案委員長報告～採決、閉会)

# ファシリテーション研修を行いました

掛川市議会では議員の能力の向上を図るため、議員研修会を行っています。

10月16日、全議員でファシリテーション研修を行いました。講師によるオンライン講義やワークショップを行い、ファシリテーションの手法などを学びました。今後は、議会報告会や出前講座での市民との意見交換やグループワークなど話し合いを行う際に生かしていきます。



ファシリテーション研修の様子

※ファシリテーション…会議等の場で、合意形成や相互理解をサポートすることにより、参加者の活性化、協働を促進させるリーダーの持つ能力のひとつ

FACILITATION

## 傍聴席

初めて議会を傍聴しました。議場の大空間の広がり、壮大な空気感は市民から行政全般が同じ目線で見渡すことが出来、感動しました。私達は、有権者として一票を投じました。その方々がどのようにして私達の生活・悩みを届けているのか、行政が抱える問題をどのように議論されているのか常々興味がありました。議員さんは市民の声を十分把握し、勉強・行動されて質問し行政側も受け答えしています。有権者は、飾る言葉も感動の言葉も要りません。真実の言葉を聞きたいのです。皆さん、様々な主張を持つ未来の掛川がそこにあります。議場に出掛けてみませんか。

石野茂子(城内区)

## 今号の表紙

背景は、「達人に学び伝える会」の会員により作成された葛布のタペストリーです。  
 題字は、静岡県立掛川特別支援学校高等部3年松永新星さんの作品を掲載しました。



松永新星さん  
(掛川特別支援学校)

## 編集後記

市議会だよりの編集に携わって早4年。これまで、皆さんに市議会をより身近に感じて、知っていただけるよう活動して参りました。まず、市議会だよりを手に取っていただくために、この4年間で表紙を2度リニューアルしました。さらに、イラストや写真を多く取り入れ、分かりやすい言葉で表現し、読みやすい紙面となるよう、様々な試行錯誤をしながら編集委員一同で取り組んで参りました。これからも、議会では何が議論される、どんなことが行われているのかについて、議会広報のひとつとして、市民の皆さんの目線に立ち、丁寧に伝えていけたらと思っています。

広報広聴特別委員会

副委員長 富田まゆみ



※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。

